

吾平中

うましさとのかぜ
美里の風



校訓 好学・規律・協力・剛健

ホームページ・ブログ更新中

夢に挑む2学期に!~セカンドペンギンになるう~

夢

校長 上村 勉

2学期がいよいよ始まりました。毎日、本当に暑い日が続いていますが、みなさんの元気な顔が見ることができて嬉しいです。

みなさんにとって今年の夏休みはどのような日々だったでしょうか。各地における記録的な猛暑、台風の影響による線状降水帯による水害、頻発する地震、物価の高騰、終わらない世界情勢への対応など…。マスコミの報道は相変わらず暗いニュースばかりでした。今朝の始業式で生徒代表の2学期の抱負がありました。全員、具体的な夢や目標を堂々と述べていて

素晴らしいと思いました。その夢や目標を実現するためには、何も行動せずただジツとしていて願っているばかりでは近づくことができません。では「夢」を動かしてみましようか。（「夢」の文字を左へ90度動かすと「挑」に変化。） そうなのです。夢を実現させるためには、動いて「挑む」「挑戦すること」が必要です。

さて、右の絵は、南極の厳しい環境の中でも精一杯生活しているペンギンたちです。みなさんはペンギンの習性を知っていますか？まず、ペンギンは群れて集団で生活し、イワシやアジなどが大好物で、泳ぎも得意です。しかし、海の中にはシャチやアザラシなどの天敵がたくさんいて危険です。そんなペンギンたちの姿から「挑戦するためには何が大事なのか」を考えてみましょう。



まさに1羽のペンギンが海の中に飛び込むとしています。こうした危険を冒してまで勇気をもって最初に飛び込むペンギンのことを「ファーストペンギン」と呼んでいます。ただし、ペンギンには決まったリーダーなどはいないそうです。では、どのようにファーストペンギンになっていくのでしょうか？これはいろいろな説があるみたいなので自分で調べてみてください。実は、このファーストペンギンになることも大切ですが、注目したいのは、それ以外のペンギンたちなのです。人間に置き換えて考えてみてください。もし、みんながやりたくないことを誰かが進んでやってくれたとします。それに対して周りの人たちが「あいつ何やってんだ」と笑ったり、「カッコつけてるな」と冷やかしたり、「やっても無理」とか否定したり、「ウザいから無視しよう」などと仲間外れにしたらどうでしょうか？その集団からは二度と物事を進んでやる人、つまりファーストペンギンは現れないでしょう。

しかし、ペンギンたちは違います。ファーストペンギンに続いて、次に飛び込むペンギンが現れます。「あいつすごいな！よし、協力するぞ！」とでも言っているようです。その姿を見て、また他のペンギンたちも次々と安心して海の中へ飛び込んでいくのです。この2番目に続いていくペンギンのことを「セカンドペンギン」と呼んでいます。ファーストペンギンは、セカンドペンギンがいてくれるからこそ安心して海中に飛び込んでいけるのではないのでしょうか。

さて、2学期の大きな行事には体育大会・合唱祭・持久走大会があります。それらの行事を成功させるためには、①まず勇気を出してファーストペンギンのように一歩踏み出してみましよう。②セカンドペンギンのように一歩踏み出した仲間を応援していきましょう。③そして、それらがうまいくかどうかよりも目標に向かって挑戦する姿こそ尊く、そして必ず今後の成長へとつながっていくのです。誰でもファーストペンギンにもセカンドペンギンにもなれるのです。吾平中には、ファーストペンギンや、その挑戦をフォローし協力できるセカンドペンギンの存在の人がたくさんいます。ぜひ、2学期はさらに一歩踏み出して、自分の「夢」に向かって「挑む」学期にしていましよう。保護者・地域の皆様、2学期も吾平中学校への御支援をどうぞよろしくお願い致します。

全国学力学習状況調査の結果について

4月17日に中学3年生を対象に、国語・数学・理科の3教科で全国学力学習状況調査が行われ、7月末に調査結果が公表されました。本県や全国の各教

	本校			県			全国		
	平均正答率	知識・技能	思考判断等	平均正答率	知識・技能	思考判断等	平均正答率	知識・技能	思考判断等
国語	50%	35.2%	52.7%	53%	44.3%	54.9%	54.3%	48.1%	55.3%
数学	44%	51.6%	32.8%	45%	52.1%	34.1%	48.3%	54.4%	39.1%
理科	49.9	2.7/6問		49.3	2.8/6問		50.3	2.8/6問	

※ 理科の結果は素点方式（正答数の多さ）ではなく、IRT方式（問題の難易度により500を標準とし受験者の能力等を評価点として出す）です。

科の結果は表の通りです。平均正答率（理科はIRT方式）を見ると、全国や県を下回っていますが、昨年度と比較してその差は小さくなってきています。

今後、正答率の低かった内容等について定着を図るとともに、高校入試に向けて苦手分野の克服に向けて指導を徹底し、学習指導を充実させていきます。

共通実践事項アンケート結果

1学期に取り組んでいただいた共通実践事項についてのアンケートをまとめました。

課題としては「家庭学習時間の確保」と「情報機器の活用ルールとマナー」です。保護者と生徒との評価の数値に差があるようです。保護者は「出来ていない」と感じているようですが、生徒は「ある程度出来ている」と感じているようです。

この意識の差を小さくするために、家庭学習の様子や内容、スマートフォンやタブレット等の情報機器端末の使い方について、御家庭でよく話し合って改善してください。なお、いただきました御意見等につきましては、安心・安全メールで回答させていただきますので、ご覧いただけますようよろしくお願いします。

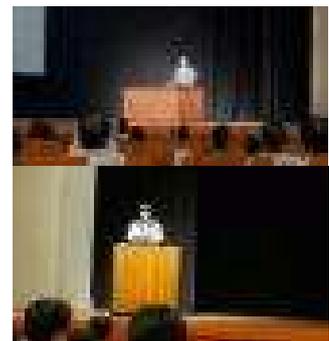
共通実践事項（達成率のみ表記）		1学期平均	
		生徒	保護者
【好き】	1 学年別家庭学習目標時間（90・100・120+α）以上の学習を行い、学習の内容を充実させる。	3.1	2.6
	2 家庭学習の3ポイント（心の支え・環境づくり・習慣づくり）で学習習慣を定着させる。	3.2	3.8
【規律・徳】	1 スマホ9時オフなどの情報機器活用のルールとマナーを守らせる。	3.0	2.6
	2 地域での心のこもったあいさつや適切な行動など、地域で育つ吾平っ子としての期待と責任を果たせるよう声かけを行う。	3.7	3.2
【剛健】	1 良質な睡眠（起床・就寝時間の設定と声かけ）の確保とバランスのよい朝食を摂取させる。	3.5	3.1
	2 「歩いて学校」（自転車通学）など1日60分の身体活動に取り組ませる。（確認と賞賛）	3.6	3.3

英語弁論大会

8月6日（水）に鹿屋市文化会館にて「鹿屋市小・中学校英語弁論大会」が行われました。本校からは3年生の鶴木侑翔さんが代表として出場しました。発表順が1番目ということもあり緊張したと思いますが、堂々とタイトル「戦争について学んだこと」のスピーチができました。

また、全体の進行を1年生の安藤千翔さんが行い、英語によるスムーズな進行に務め、とても立派でした。

今回の英語弁論大会は、戦後80周年ということで、内容は平和に関するものが多かったです。自分の考えや気持ちを英語で表現し、実践的コミュニケーション能力を身に付けてほしいと思います。



PTA協働作業



8月17日（日）に、第1回PTA協働作業を行いました。お休みの日にもかかわらず、多くの保護者の方々に御参加いただき、作業を進めることができました。当日は天気もよく、猛暑ということもあり、1時間程度の作業ですべて終わることは出来ませんでした。日頃の作業の中で少しずつ作業していきます。御参加ありがとうございました。